

令和6年度 県立健康科学研究所外部評価専門委員会【事前評価】

個票 No.	研究課題名	評価 結果	コメント
1	ノロウイルスをはじめとする胃腸炎ウイルスにおける全ゲノム解析の確立に関する研究	採択	【評価の結論に至った理由・考え方】 ・県内でも多く発生しているノロウイルス等に関する基礎的な研究であり、伝播経路の解明のみならず、将来的なワクチン開発にも波及する可能性もある必要性の高いものである。変異の少ない部位を見出すことができれば、新たな変異株に左右されない迅速なイムノクロマト検査法の開発、効率的なリアルタイムPCR解析などに繋げることが可能となる。 ・唯一ヒトに感染するとされるノロウイルスは大規模な集団感染を引き起こす。また、遺伝子型、血清型も多く、多様性をもつことから、当該研究はその解明に大いに期待される。 ・ノロウイルスの遺伝子解析とそれによる系統樹受解析はウイルスの遺伝子変異と流行予測を知るうえで重要な研究である。変異の多い部位のみならず、ノロウイルスの全ゲノム解析を行うことも重要である。 【提案機関へのアドバイス】 ・本研究はゲノム解析であるが、是非、治療法の開発や迅速な検査法の構築につながるような応用面への発展も期待したい。 ・近畿の地研、感染研等と連携・情報交換し、効果的な研究の推進を期待する。また、保健所等に科学的根拠に基づく情報提供・指導に資する成果を期待する。 ・有用な研究であり、調査を継続して行っていただき、新たな成果がでることを期待しています。

令和6年度 県立健康科学研究所外部評価専門委員会【事後評価】

個票 No.	研究課題名	評価 結果	コメント
1	感染症の原因となる病原体の迅速検出をめざした新規検査手法の導入に関する調査研究	採択	【評価の結論に至った理由・考え方】 ・原因病原体を特定することは極めて重要な初期段階の検査ステップであり、必要性も高い。多面的に研究が行われ、それぞれ十分な成果が出ている。本研究成果の利用・応用も期待できる。 ・病原体を迅速に検出し、病原体微生物検出情報の提供は研究所の最も重要な業務である。新規導入した次世代シーケンサー及び様々な機器を駆使し、ゲノム解析、薬剤耐性菌の解析など評価に値する成果が認められる。更なる継続した研究を期待する。 ・インフルエンザウイルスやSARS-CoV-2のウイルスゲノム解析による系統樹解析を行い、流行動態の解析に寄与した。 非ポリオウイルスエンテロウイルスの検査手法の検討や原因不明集団胃腸炎事例のNGSを用いたメタゲノム解析は、重要な課題であり、さらなる進展を期待したい。 【提案機関へのアドバイス】 ・得られた成果を公表するための学会・論文発表などは、すでに実施されているとは言え、より積極的に更なるチャレンジを行って頂きたい。 ・これまでの研究を持続的に継続・発展して頂きたい。そのためにも外部資金（研究費）の獲得が必要と考える。科学研究費補助金など、積極的に応募すべきではないか。 ・更なる成果が期待されることから、何らかの予算で継続した研究がなされることを希望する。 ・成果が得られおり、学会発表や論文発表を通じて、成果を公表していることは評価に値すると思われます。さらに研究を継続して行い、さらなる発展に繋げていくことを期待します。